YAGI

取扱説明書 地上デジタル放送対応 アキシャルコンビネーション型UHF平面アンテナ VARTE / U26K-W

強・中・弱電界地域用 | 屋外用 | 水平偏波受信用

本体色：ホワイト

お買い上げいただきましてありがとうございました。この**取扱説明**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、この**取扱説明書**を大切に保存してください。

◆ 安全上のご注意

絵表示について：取扱説明、および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示しています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な内容 (左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。) が描かれています。

⚠ 警 告

・高所 (家屋の屋根の上・2階の壁面など) 足場の悪い場所への取付けは、落ちたりして、けがの原因となりますので、販売店もしくは工事店におまかせください。
・中・高層住宅での使用は強風時破壊し、落下の危険があるため、特に地上高14m以上の建物に取付ける場合は販売店もしくは工事店におまかせください。

・雨天・降雪・強風時の作業は安全のために行わないでください。倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。
・アンテナを取付ける際は、ベランダなどから乗り出しての作業は、落ちたりして、けがの原因となりますので絶対に行わないでください。
・強度の弱い場所や、取付け後ぐらついたり振動したりする場所に取付けしないでください。転倒・落下をして、けがの原因となります。
・火災の原因となりますので、煙突の付近等、高温になる場所へ設置しないでください。
・腐食が進んで劣化した取付金具を使用しないでください。また、アンテナやベランダ金具などは分解して使用しないでください。転倒・落下をして、けがの原因となります。
・プラスチック部分が破損し落ちたりして、けがの原因となりますので、アンテナなどにワックス・サビ止めなどの薬剤を使用しないでください。
・本体などを包装しているポリ袋は、幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶると窒息し、死亡の原因となります。
・雷が鳴り出したら、同軸ケーブルなどには絶対に触れないでください。感電の原因となります。

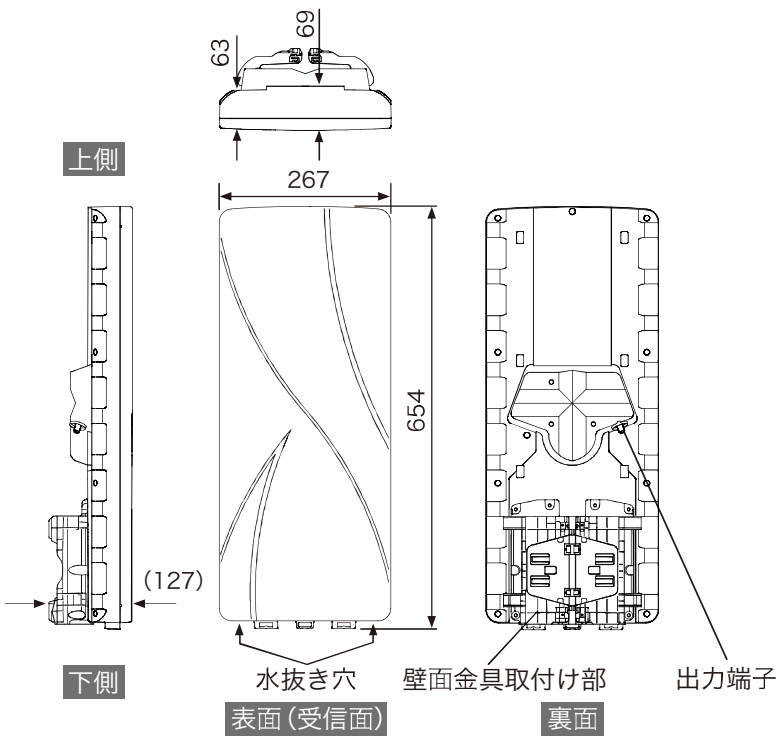
・アンテナが転倒・落下をして、けがの原因となりますので屋外の設置には、専用の金具などを使用して確実に設置してください。また、アンテナが落下しても安全な所に設置してください。
・感電や断線の原因となりますので、電灯線や電話線に触れるような所はさけて設置してください。
・アンテナや工具が落下し、けがの原因となりますので、落下防止のため「丈夫なひも」などで固定物と結ぶなど、万全の予防策を必ず行ってください。
・アンテナや取付け金具類が落下して、けがの原因となりますので、ボルト・ナット類は工具を用いて指定の適正締付けトルクで締付けてください。
・突起物によるけがや、幼児が登り転落の原因となりますので、取付け場所には十分に注意してください。

⚠ 注 意

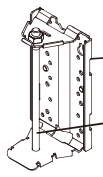
・アンテナ工事には技術と経験が必要です。工事については販売店もしくは工事店にご相談ください。
・包装を開くとき、段ボールの切り口端面でけがをすることがあります。十分にご注意ください。
・屋外使用では、取付け場所に固定するため、取付け時に壁面などに穴があいたり、ベランダや柱にキズがつきます。アンテナ取付け前にその場所で地上デジタル放送が受信できることをテレビなどで確認してください。
・カッターナイフ等の使用については、けがの原因となることがありますので、十分にご注意ください。また、同軸ケーブルの加工中など芯線が指などに突き刺さらないようにご注意ください。
・アンテナの方向調整を行う際、アンテナと壁面金具の間で手をはさむ可能性がありますので、取扱いには十分注意してください。
・けがの原因となることがありますので、アンテナの組立て・取付け作業中は、突起物には十分にご注意ください。
・地デジ対応テレビ・ブースタに接続する際や、ベランダ金具などに取付けの際は、その機器の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく配線・取付けを行ってください。誤った使用は故障の原因になることがあります。
・１年に一度は、ネジ部のゆるみがないか、安全を確保したうえで点検してください。特に台風や積雪の後などは、ネジ部にゆるみや異常が生じることがあります。そのままにしておくと落ちたりして、けがの原因となることがあります。

・アンテナを人や車両の通行を妨げる場所に設置しないでください。けがや破損の原因となることがあります。
・インパクトレンチ等、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。ボルトなどの変形や破損の原因となることがあります。
・アンテナや取付け金具類に衛星アンテナや洗濯物など、他の物品を掛けたり、取付けたりしないでください。転倒・落下をして、けがの原因となることがあります。
・本体にあいている穴は水抜き穴です。故障の原因となることがありますので、テープなどでふさがないでください。

◆ 外観図及び寸法 (単位 mm)



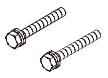
◆ 付属品一覧



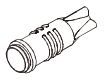
壁面金具　1 個

固定ボルト　1 本

マストバンド　1 個



六角組ボルト (M6) 2 本



防水キャップ 1 個

位置決め段ボール 1 枚

◆ 標準性能表

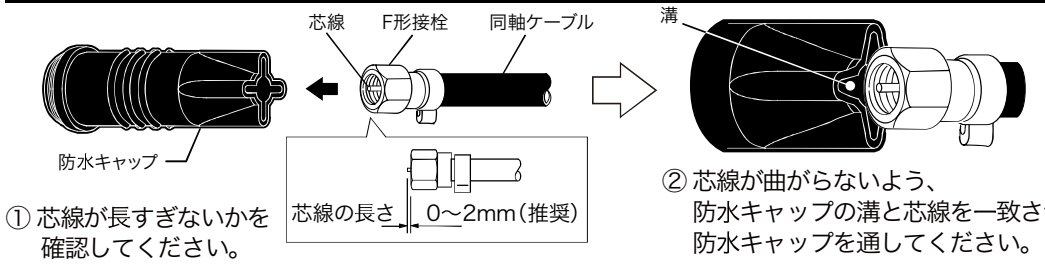
アンテナ方式	アキシャルコンビネーション方式
受信チャンネル (ch.)	13～52 (水平偏波)
動作利得 (dB)	8.4～9.8
電力半値角 (度)	±38～±35
前後比 (dB)	15～20
電圧定在波比 (以下)	2.5
インピーダンス (Ω)	75 (F形接栓座)
質量 (kg)	本体：約2.4　壁面金具：約0.5
適合マスト径 (mm)	マスト：φ25～φ48.6 角柱：□25～□45

◆ 別途必要なもの

・同軸ケーブル (4C ～ 5C)
・F 形接栓（同軸ケーブルに合わせて準備してください。）
・落下防止用ひも (丈夫なもの)
・結束バンド
・(+) ドライバー、スパナ (口径 10 及び 12mm)
・ケーブル加工用工具

※取付け方法に応じて必要となるもの
・木ネジ等の壁面金具固定用ネジ
・ステンレスベルト

◆ 防水キャップの取付け方法



① 芯線が長すぎないかを確認してください。

② 芯線が曲がらないよう、防水キャップの溝と芯線を一致させ、防水キャップを通してください。

⚠ 注意

・接栓（別売）は、ご購入の取扱説明書をよくお読みのうえ、取付けてください。
・芯線が長すぎると、出力端子が破損します。
・けがの原因となることがありますので、芯線が指などに突き刺さらないようにご注意ください。
・芯線は、まっすぐにしてください。曲がった芯線はショートして機器が故障します。
・同軸ケーブルは4C～5Cをご使用ください。

八木アンテナ株式会社

◆ 使用上のご注意

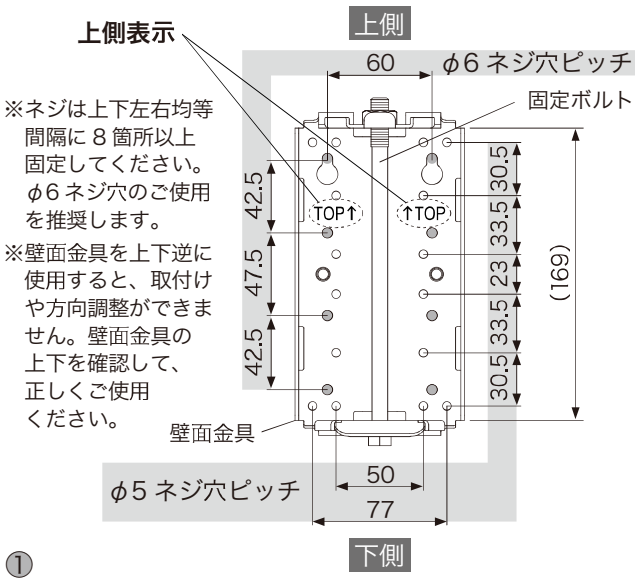
- 本製品は水平偏波受信用です。垂直偏波は受信できませんので、ご使用の前に必ず、お住まいの地域の受信偏波をご確認ください。
- マンションやアパート等によっては、取付けに規制のある場合があります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取付けてください。
- 近隣の家屋に取付いているアンテナの方向を参考に、UHF局方向側の壁面・ベランダなどに取付け、地上デジタル放送がきれいに映るようアンテナの方向を調整してください。
- 受信レベル（アンテナレベル）は、アンテナの高さでも変わります。高い場所に設置すると、受信レベルが高くなることがあります。
- 本製品は、電波が弱い地域や建物により遮へいされた場所など電波状況が悪い地域では、ブロックノイズが発生したり、良好に受信できない場合があります。また、取付け後に建物などの環境が変化したことにより受信できなくなる場合があります。
- 電気器具や自動車のイグニッションノイズなどの雑音発生源からなるべく遠い場所を選んで設置してください。
- 雨天・降雪・強風など、天候の悪いときは危険ですので取付け作業は行わないでください。
- 取付け作業中にベランダ金具などが落下した場合、けがの危険性がありますのでサンダルなどでの作業はおやめください。
- 海岸地域では、潮風が直接アンテナに当たらない場所を選んで取付けてください。著しい発錆による故障の原因となります。
- 7C以上の同軸ケーブルを使用する場合は、ピン付きコネクタをご使用ください。
- 本製品にDC+15Vは供給しないでください。故障の原因となります。

◆ 壁面取付けの方法

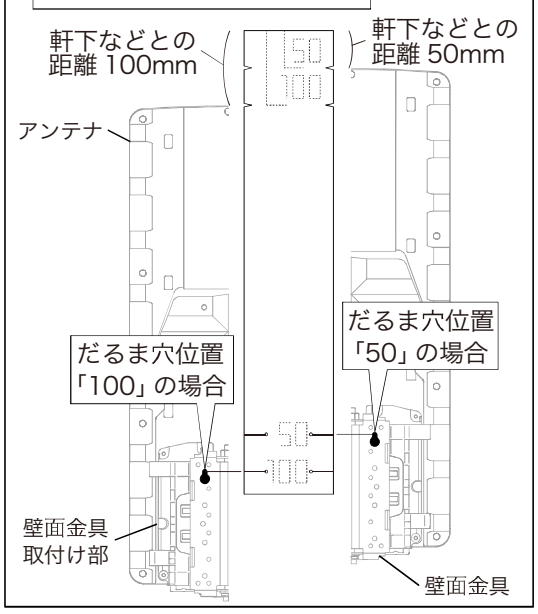
「壁面取付けの注意事項」

- 壁面に取付ける場合、壁面の材質・強度・防水処理などがわかる工務店などの専門業者に、必ずご相談ください。
- 落下の危険のない所、取付け場所の強度が十分な場所を選んでください。
- 転倒などによりケガの原因となることがありますので、安全な足場を確保したうえで作業してください。
- 本体が破損する原因となることがありますので、取付け後、アンテナと軒下などとの距離は、50mm以上離れた位置に取付けてください。方向調整後、アンテナと壁面などとの距離は、15mm以上離れていることを確認してください。
- ボルト・木ネジなど締付け部分は、初期ゆるみがあります。数ヶ月以後、ゆるみがないかを点検してください。
- アンテナを上下逆に取付けると、本体内部に雨水がたまり、故障の原因となります。アンテナの上下を確認して、正しく取付けてください。

壁面金具のネジ穴ピッチ図（単位：mm）



位置決め段ボールの使用方法



取付け場所の受信確認

1N・m = 9.8kgf・cm

※ 壁面取付けの場合、壁面に穴をあける必要があります。事前に取付け場所での受信確認を行ってください。

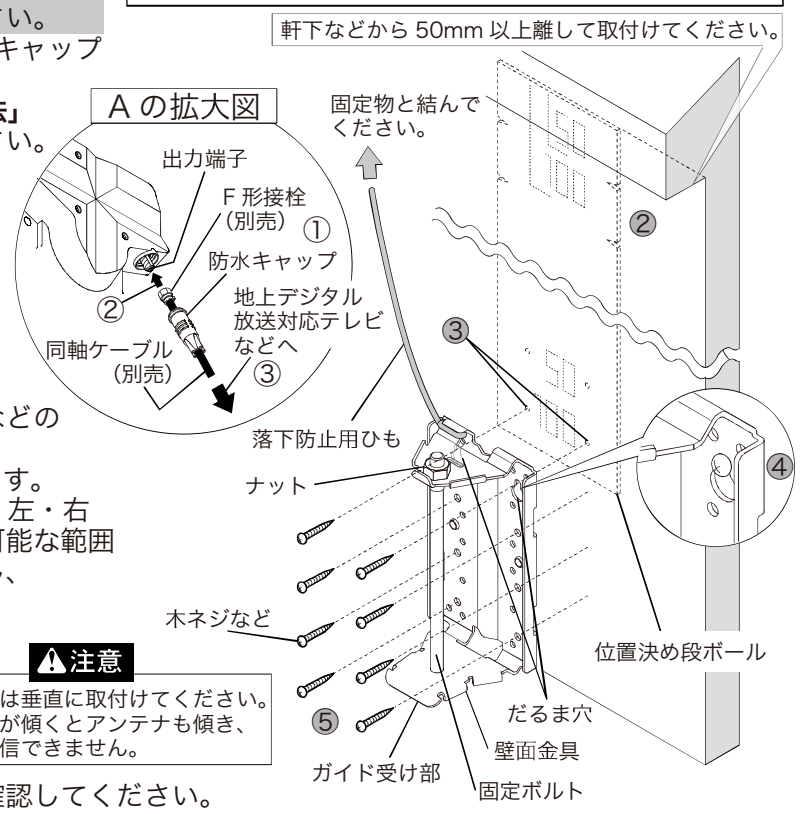
① 同軸ケーブル（別売）に F 形接栓（別売）、防水キャップを取付けます。
- この取扱説明書の**「防水キャップの取付け方法」**を参照のうえ、防水キャップを取付けてください。

② 出力端子に同軸ケーブルを接続します。
- F 形接栓を取付ける際は、軽く手で締付けたあとスパナなどで軽く締付けてください。（適正締付けトルク：1.0 ～ 2.0N・m）
- F 形接栓を締付けても出力端子ネジ部が見えますが、無理に締込まないでください。
- 防水キャップはカチッと音がするまで確実に挿し込み、抜けないことを確認してください。

③ 同軸ケーブルを地上デジタル放送対応テレビなどのアンテナ入力端子に接続します。
- 落下防止のため、本体を固定物とひもで結びます。
- 本体を手で持ち、安全を確認のうえ、上・下、左・右に位置を変えながら、取付け及び方向調整が可能な範囲で地上デジタル放送が受信できることを確認し、アンテナを取付ける位置を決めてください。

※ 電波到来方向に表面を向けて持ってください。

④ 確認後、作業の妨げとならない場所にアンテナを仮置きしてください。



⚠注意

壁面金具は垂直に取付けてください。壁面金具が傾くとアンテナも傾き、正しく受信できません。

壁面金具の取付け

※ 取付け前に、**「壁面取付けの注意事項」**を必ず確認してください。

①**「壁面金具のネジ穴ピッチ図」**を参照し、壁面金具の上下方向を確認し、壁面金具のネジ穴径に合った市販の木ネジまたはタッピングネジなどを準備してください。

②**「位置決め段ボールの使用方法」**を参照し、取付ける場所の軒下等に平行に添え当ててください。

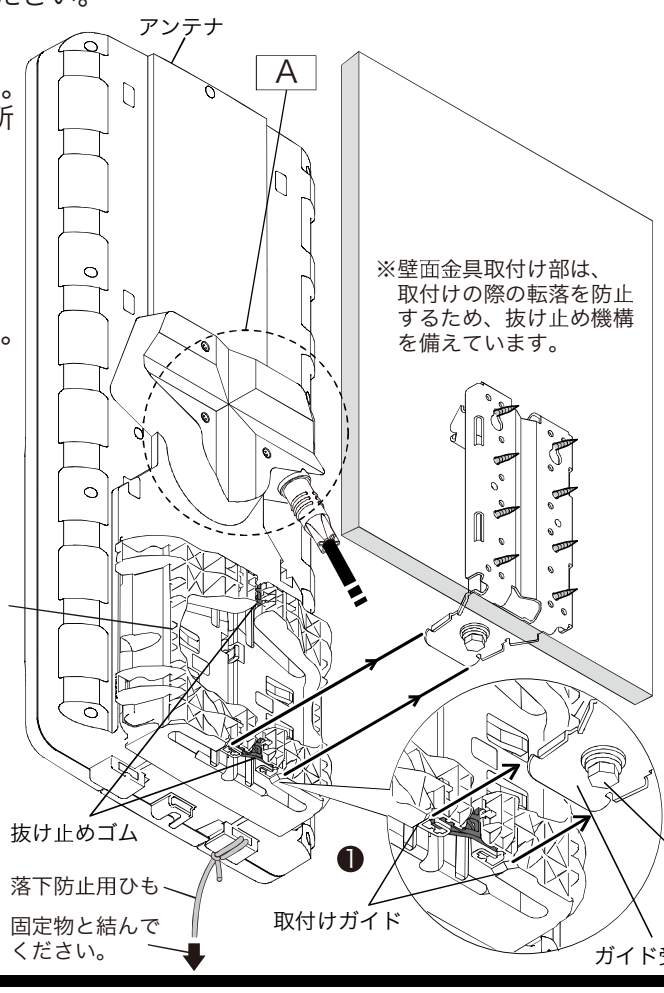
※ 軒下から離れた位置に取付ける場合は、壁材の継ぎ目などを参考に、垂直を確認してください。

③ 確保したい間隔を選び、マジック等で 2 ヵ所目印をつけてください。

④ 壁面金具のだるま穴に引っかけられるよう、ネジの首下に約 3mm すきまをあけ、目印の片方にネジを取付けます。もう片方の目印を参考に、壁面金具が垂直になるよう調整し、もう片方のネジを取付けてください。

⑤ 残りのネジを取付け、壁面金具を壁面に強固に固定します。

※ 固定ボルトは、出荷時の状態または壁面金具上側のナットから固定ボルトのネジ山が 3 山程度出た状態であることを必ず確認してください。その状態で、抜け止め機構が正しく機能します。



アンテナ本体の取付け

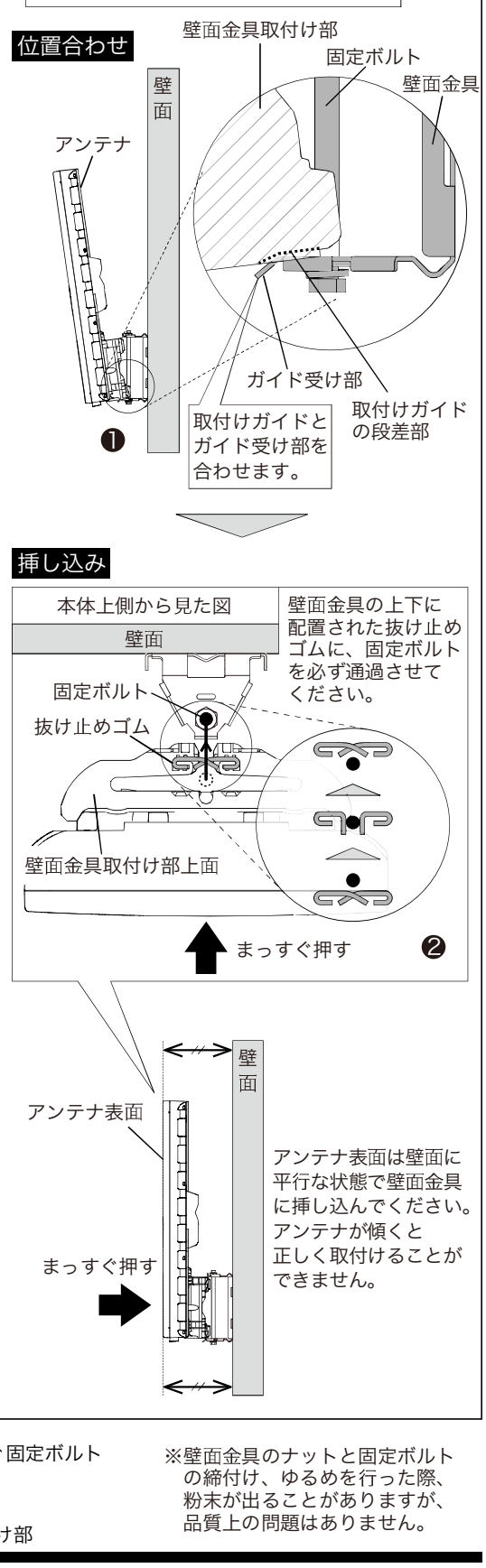
❶ 壁面金具取付け部の取付けガイドを壁面金具のガイド受け部に合わせ、アンテナ表面が壁面と平行な状態を確認したうえで、アンテナを壁面金具に挿し込みます。

※ 取付けガイド部は段差がついています。段差を壁面金具のガイド受け部に合わせると挿し込みが簡単です。

❷ 固定ボルトが壁面取付け部の上下に配置された抜け止めゴムを通過したことを確認してください。

❸ この取扱説明書に記載の**「アンテナの方向調整」**、**「同軸ケーブルの引き回し」**を参照のうえ、方向調整及びケーブルの引き回しを行ってください。

アンテナを壁面金具に挿し込むとき

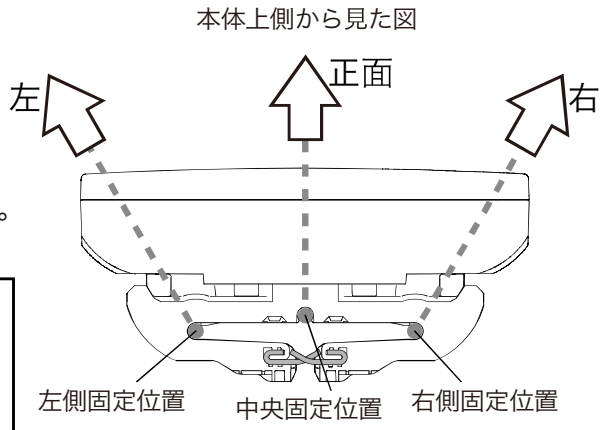


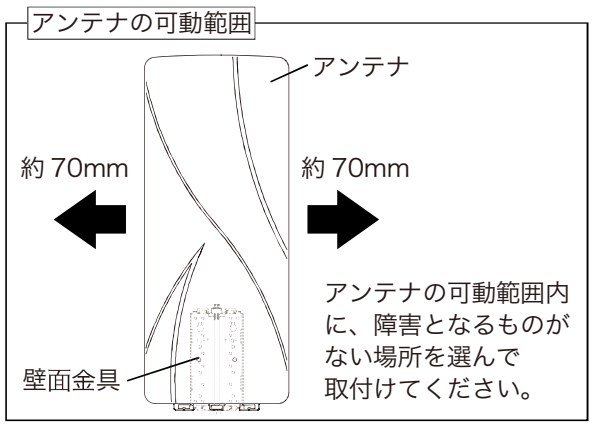
※壁面金具のナットと固定ボルトの締付け、ゆるめを行った際、粉末が出ることがありますが、品質上の問題はありません。

◆ アンテナの方向調整

電波到来方向と固定位置の対応関係

・アンテナの方向調整は、3 ヵ所で行うことができます。
　電波到来方向に合わせて、固定位置を選択のうえ、
　方向調整を行ってください。
・アンテナの方向調整は、中央固定位置で ±10°、
　左側、右側固定位置でそれぞれ 60°の方向調整が可能です。



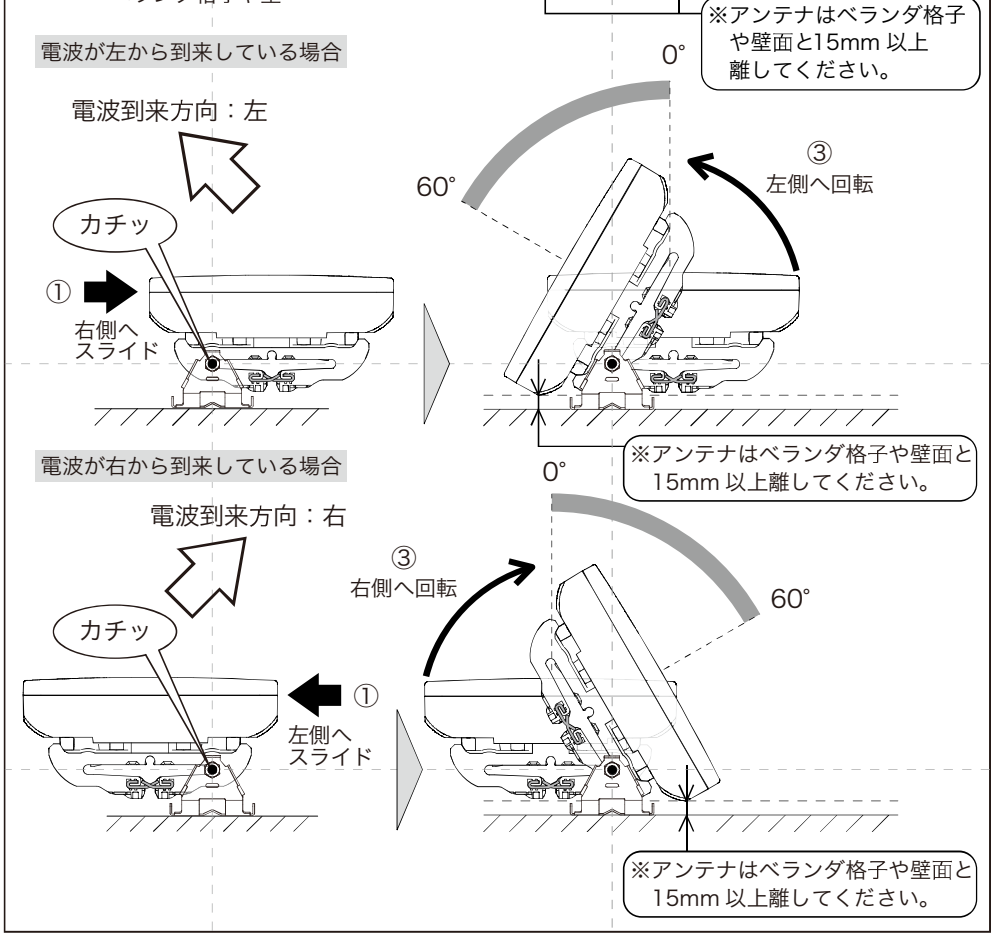


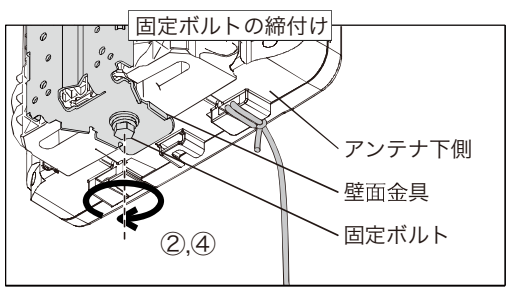
⚠注意

・アンテナは、必ず3ヵ所のいずれかの位置で固定してください。
　その他の位置で固定すると、アンテナが破損し、落下の原因となることがあります。
・固定ボルトを固定位置から外す際は、ゆっくりと外してください。
　足場の悪い場所で勢いよく外すと、落ちたりして、けがの原因となります。
・方向調整の際はアンテナと壁面金具の間で、手をはさまないよう注意してください。

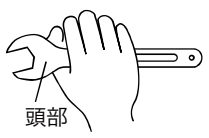
固定位置への移動と方向調整

① 電波到来方向に合わせて固定位置を選択してください。
　●電波が正面から到来している場合
　抜け止めゴムに固定ボルトを通過させた後、アンテナをまっすぐ押し、中央固定位置に固定ボルトをはめ込みます。
　●電波が左から到来している場合
　抜け止めゴムに固定ボルトを通過させた後、アンテナを右へスライドさせ、左側固定位置に固定ボルトをはめ込みます。
　●電波が右から到来している場合
　抜け止めゴムに固定ボルトを通過させた後、アンテナを左へスライドさせ、右側固定位置に固定ボルトをはめ込みます。
② アンテナが回転できる程度まで、固定ボルトをスパナなどで仮締めしてください。
③ アンテナを回転させ、受信レベルが最大になるよう方向を調整します。
※ 手や同軸ケーブルを本体と壁面金具ではさみ込まないよう注意してください。
※ 方向調整範囲は正面で ±10°、左右でそれぞれ 60°です。無理に方向調整を行うと、中央固定位置から固定用ボルトが外れたり、アンテナを破損するおそれがありますのでご注意ください。
④ 方向調整が終わったら、固定ボルトをスパナなどで締付けてください。
（適正締付トルク 8.0 ～ 10.0N･m）



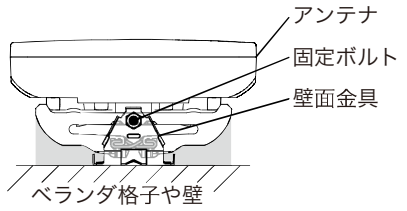


⚠注意　固定ボルトの締付け



スパナは頭部付近を持ち、締付けてください。
長く持って強く締付けると本体が破損するおそれがあります。

⚠注意



・方向調整の際、　範囲内に同軸ケーブルが入らないようにしてください。
　同軸ケーブルがアンテナと壁面金具の間にはさまり、正しく方向調整ができない場合があります。

◆ 同軸ケーブルの引き回し

・位置 A・B・C に結束バンドを通すための穴があります。
　必要に応じて同軸ケーブルの固定にご使用ください。
・出力端子や防水キャップ、同軸ケーブルに、無理な力がかからないよう、同軸ケーブルを必ずたるませて配線してください。

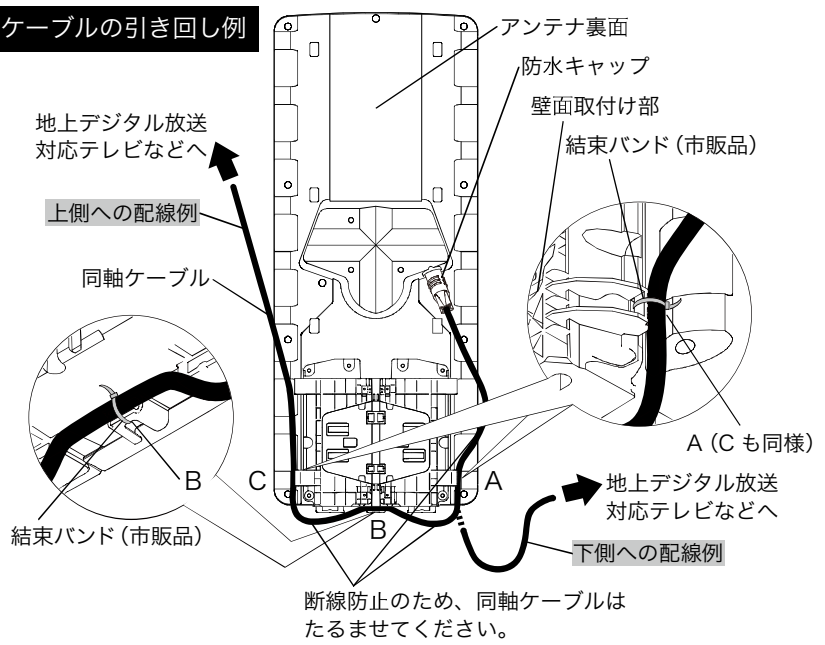
⚠注意

・防水キャップにビニルテープを巻き付けて、同軸ケーブルに固定しないでください。
　雨水がたまり、故障の原因となります。

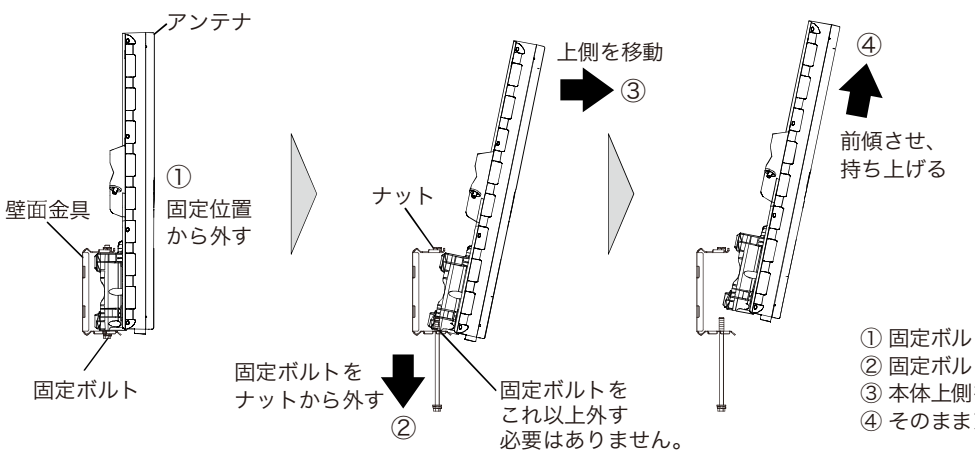
室内への配線

・室内へは、クーラー穴などの配管ダクトを利用するか、窓のすきまを通す「すきま配線ケーブル（別売）」を使用し、室内に雨水が浸入しないようケーブルを引き込んでください。

同軸ケーブルの引き回し例



◆ アンテナを取外す方法

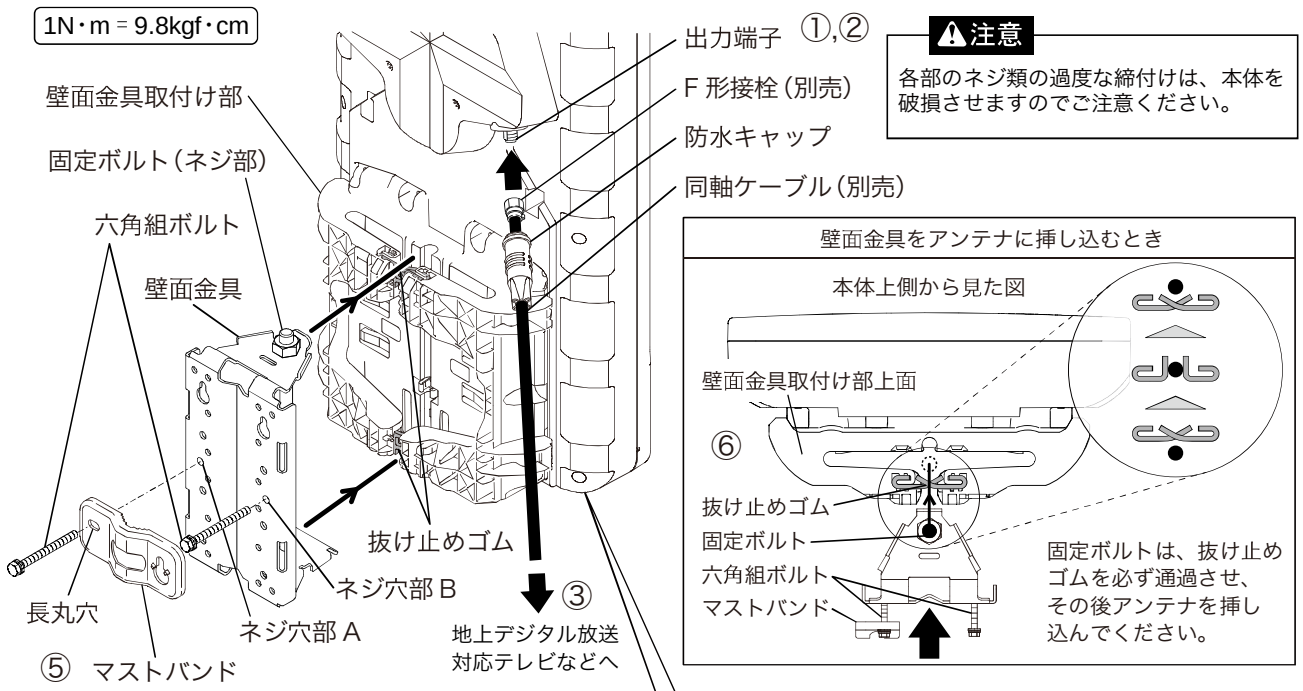


① 固定ボルトをゆるめ、アンテナをゆっくりと動かし、固定ボルトを固定位置から外します。
② 固定ボルトを壁面金具上側のナットから外します。
③ 本体上側を表面方向に引きます。
④ そのままアンテナを表面方向に前傾させ、壁面金具上側とアンテナが外れたら持ち上げてください。

◆ ベランダ取付けの方法

適合マスト径(mm)　マスト:φ25～φ48.6　角柱:□25～□45

① 同軸ケーブル(別売) に F 形接栓 (別売)、
防水キャップを取付けます。
・この取扱説明書の**「防水キャップの取付け方法」**を参照のうえ、防水キャップを取付けてください。
② 出力端子に同軸ケーブルを接続します。
・F 形接栓を取付ける際は、軽く手で締付けたあとスパナなどで軽く締付けてください。
(適正締付けトルク：1.0 ～ 2.0N・m)
・F 形接栓を締付けても出力端子ネジ部が見えますが、無理に締込まないでください。
・防水キャップはカチッと音がするまで差込み、抜けないことを確認してください。
③ 同軸ケーブルを地上デジタル放送対応テレビなどのアンテナ入力端子に接続します。
・落下防止のため、本体を固定物とひもで結びます。
・本体を手で持ち、安全を確認のうえ、上・下、左・右に位置を変えながら、取付け及び方向調整が可能な範囲で地上デジタル放送が受信できることを確認し、アンテナを取付ける位置を決めてください。
※ 電波到来方向に表面を向けて持ってください。
④ 確認後、作業の妨げとならない場所にアンテナを仮置きしてください。
⑤ 六角組ボルトでマストバンドを壁面金具に仮組みします。
・マストバンドの長丸穴側に六角組ボルトを通し、ネジ穴部 A に仮組みしてください。
⑥ 壁面金具を、壁面金具取付け部に取付けます。
・壁面取付け部の上下面と、壁面金具の内側を合わせ、固定ボルトを中央に配置された抜け止めゴムに通過させ、壁面金具を壁面金具取付け部に挿し込んでください。
⑦ アンテナをベランダ角柱部などに取付けます。
・角柱部などをまたぐように、六角組ボルト・マストバンドを配置し、マストバンドの☝穴に六角組ボルトの頭部を引っかけてください。
⑧ 六角組ボルトを左右均等に締付け、アンテナをしっかり固定してください。
(適正締付トルク 3.0 ～ 4.0N･m)
⑨ この取扱説明書の**「アンテナの方向調整」**を参照のうえ、受信レベルが最大になるよう方向を調整します。
また、**「同軸ケーブルの引き回し」**を参照のうえ、同軸ケーブルの配線を行ってください。

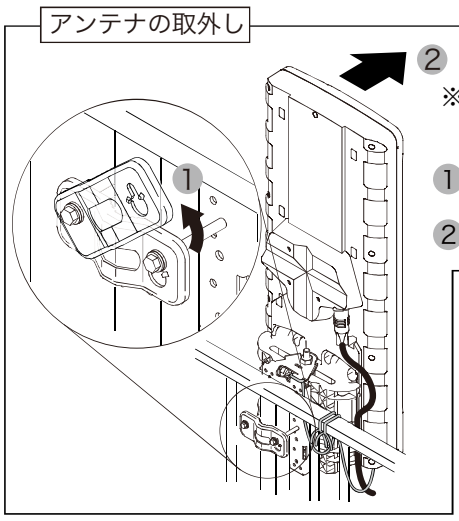


⚠注意
各部のネジ類の過度な締付けは、本体を破損させますのでご注意ください。

⚠注意
□25～□45mmの角柱または φ25～φ48.6mmの円柱に取付けてください。

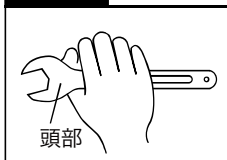
室内への配線
室内へは、クーラー穴などの配管ダクトを利用するか、窓のすきまを通す「すきま配線ケーブル（別売）」を使用し、室内に雨水が浸入しないようケーブルを引き込んでください。

アンテナの取外し



※アンテナに丈夫なひもなどでしっかり落下対策がされていることを確認してください。
1 六角組ボルトをゆるめ、マストバンドの☝穴から六角組ボルト頭部を外します。
2 ベランダ角柱部から取外してください。

⚠注意 F形接栓・六角組ボルト・固定ボルトの締付け

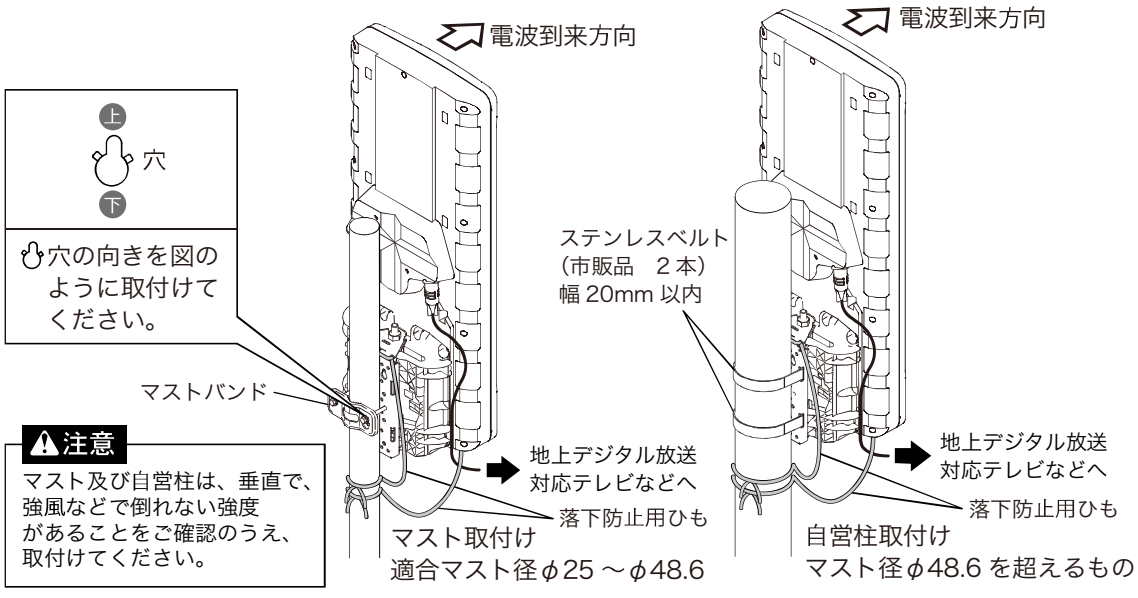


スパナは頭部付近を持ち、締付けてください。
長く持って強く締付けると、本体の破損やマストバンドが変形する原因となります。

⚠注意
・アンテナや工具などを落下させると、けがの原因になることがありますので、取付けにあたっては、必ずアンテナや工具などはひもでベランダなどと結んで落下防止を行ってください。落下防止用ひもは、別途丈夫なものをご用意ください。
・取付けを行うとき、ベランダから身を乗り出して作業しないでください。
落下して、けがの原因となります。

◆ マスト･自営柱へ取付けの方法

※ 自営柱取付けの場合、六角組ボルト及びマストバンドは使用しません。
A.**「ベランダ角柱部取付け」**を参照し､①～⑥までを行って下さい。
・固定ボルトを**中央固定位置**にはめ込み、締付けます。
(適正締付トルク 8.0 ～ 10.0N･m)
B.「マスト取付け」ではマストバンド、「自営柱取付け」ではステンレスベルトを用いて、アンテナが回転できる程度に仮固定してください。
C. 表面を電波到来方向に向け、マスト又は自営柱を軸に左右に回転させて受信レベルが最大になるよう方向を調整します。
D. 調整が終わったら、マストバンドやステンレスベルトを均等に締付けてください。
(マストバンド適正締付トルク 3.0 ～ 4.0N･m)
E. この取扱説明書の、**「同軸ケーブルの引き回し」**を参考に、同軸ケーブルの配線を行ってください。



⚠注意
マスト及び自営柱は、垂直で、強風などで倒れない強度があることをご確認のうえ、取付けてください。

この製品は今後予告なく形状及び特性を変更することがあります。

八木アンテナ株式会社
〒337-8502　埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1406
http://www.yagi-antenna.co.jp

■ 製品に関するお問い合せ ■
048-687-8198
ご利用時間(土･日･祝日･弊社休業日を除く)
9:00～12:00　13:00～17:00

M300349733-12.11